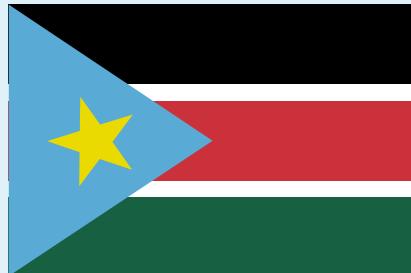


## 国の紹介



南スーダンは東アフリカに位置する内陸の発展途上国で、その小さな開放経済は世界で最も多様性が低く、石油依存度が最も高い国の一つです。

- ・国境：東にエチオピア、南東にケニア、南にウガンダ、南西にコンゴ民主共和国、西に中央アフリカ共和国、北にスーダンと国境を接しています。
- ・総面積：約 644,000 平方キロメートル
- ・独立：2011 年 7 月 9 日、スーダン政府（GoS）とスー  
ダン人民解放運動 / 軍（SPLM/A）との 20 年以上に及ぶ  
内戦の後、独立を果たしました。
- ・首都：ジュバ
- ・気候：熱帯性。雨季は 4 月から 10 月
- ・公用語：英語
- ・現地で話される言語：64 の先住民族言語
- ・通貨：南スーダン・ポンド
- ・人口：2008 年国勢調査では約 830 万人と推定されてい  
ます。この国勢調査は 10 年以上前に実施されたため、こ  
の推定値は実態と異なる可能性があります。同調査によ  
る、人口は 2021 年の推定 1,220 万人から 2030 年までに  
2,500 万人に達する見込みで、10 年間の人口増加率は年  
間 2.8% と予測されています。



©Expo 2025

# SOUTH SUDAN PAVILION

南スーダン館

南スーダン - 無限の可能性をもつ国。  
様々な分野でまだ活用されていないビジネスや  
投資の機会が広がっています。  
この国は魅力的な観光地であり、  
優れたビジネス・投資先でもあります。

## 展示コンセプト

南スーダンは世界で最も新しい国で、ビジネスや投資において未開拓の豊かな可能性を秘めています。2025年大阪・関西万博は、来場者の皆様や将来、南スーダンを訪れてくださる観光客、投資を行ってくださる投資家の皆さまに向けて、経済的ポテンシャルを紹介する絶好の機会となります。

- ・南スーダンのビジネスチャンス、魅力、自然の美しさ、経済的困難の中での女性と若者の回復力、文化的多様性とアイデンティティ、社会経済的可能性、独自の遺産、生物多様性、そして魅力的な観光地などをご紹介します。
- ・南スーダンへの訪問と投資の魅力をご理解いただき、ぜひご検討ください。共にビジネスチャンスを創出しましょう。
- ・ここで展示されている木工芸品、伝統工芸品、彫刻作品は、南スーダンの観光の未来を実感していただくための展示です。これらを通じて、発展し続ける南スーダンの魅力をより深く理解し、様々な可能性を見出していくだけたら幸いです。これらは私たち全員が将来の世代のための持続可能な観光を守るために必要なものです。
- ・平和的な共存を推進し、急速に変化する地球環境問題と共に取り組むことは、私たちの大切な使命です。健康的な暮らしのために環境を守り、『ボトルをレンガに変える』一持続可能な社会へ。私たちに真の幸福と豊かな暮らしをもたらす自然を大切にしましょう。



## 手つかずの美しさ 南スーダン： 絶景と豊かな生物多様性の地

南スーダンは、豊かな動植物の多様性、美しい景観、多様な文化、素晴らしい湿地を持つ美しい観光地です。これらの湿地には、モモイロペリカン、カンムリヅル、白いタン、ハシビロコウなど何千もの固有の鳥類や一部の渡り鳥が一年中生息しています。また、変化に富んだ気候や、ティム・ズベイル奴隸貿易ルート遺跡などの歴史的な場所も見どころです。スッド湿地は南スーダンの魅力的なエリアの一つで、推定面積約 57,000 平方キロメートルを誇ります。2005 年にユネスコによって世界ラムサール条約湿地（国際的に重要な湿地）に指定されています。

## 南スーダンの魅力：雄大なナイル川、 絶景の大自然、そして冒険の旅

世界最長のナイル川は南スーダンを通り北東アフリカから地中海へと流れています。このナイル川や南スーダン国内の他の河川は主要な観光スポットとなっており、クルーズ、スポーツフィッシング、ラフティング、バードウォッチング、映像撮影など様々な観光アクティビティの舞台となっています。また、数多くの温泉、滝、急流があり、特に有名なのはニムレ国立公園にあるフッラの滝です。南スーダンにお越し頂き、以下のような様々な景色をお楽しみください。

- ・豊かな熱帯雨林
- ・広大な森林地帯
- ・のどかな草原
- ・雄大な山々と丘陵地帯
- ・神秘的な洞窟
- ・壮観な断崖絶壁

## オトゥホ族の手作り衣装：隠された神秘

オトゥホ族では、女性たちはヤギや羊の皮から丁寧に作られたスカートを身につけています。これは既婚女性が着用する衣装で、主にお祝いの踊りの際に着用されます。南スーダンの他の部族（ロピット族など）と同様に、オトゥホ族も様々な場面で異なる踊りを持っています。例えば、「エチャハ」は王を讃え踊る舞で、「エカンガ」は収穫を祝う踊りです。この衣装が着用されるもう一つの人気のある踊りは「エフィラ」で、22 年ごとに行われる指導者の継承の祝いです。前の世代から次の世代へリーダーシップが引き継がれる儀式で、最後の継承式は 2021 年 9 月に行われました。

## ディンカ族のビーズ装飾衣装：秘められた富

ディンカ族は伝統的に身体を芸術表現の中心と考えており、ディンカ族の古代からのビーズコレクションのような、丁寧に作られた衣装で身を飾ることは、最も表現力豊かな方法の一つです。このビーズのコレクションは、とても幼い年齢から身につけ始めます。ディンカ族のクリエイティビティを象徴するこのビーズの衣装は、着用者が結婚の準備が整うまでも取り外されることはありません。彼らの富はコレクションの背中の高さによって測られます。突起が高いほど、着用者はより裕福であるとされています。